

# UCC Smile Festa 2023 環境報告書



## UCC Smile Festaは 資源循環型イベントの実現を目指し 様々な施策を取り入れています！



### CO<sub>2</sub>排出量の削減

地球温暖化の要因となる、CO<sub>2</sub>をはじめとする温室効果ガスの排出量の削減を目指します。



### ゼロウェイスト

「ごみをゼロにする」ことを目標に、できるだけ「廃棄物」を減らします。

大規模イベントの開催は、多くのステークホルダーが関与するため、開催地や関係者に直接的・間接的な経済効果を生み出します。その一方で、一時的に多くの資源が消費されることから、環境に対してマイナスの影響を与える側面もあります。UCCコーヒープロフェッショナルが主催する『UCC Smile Festa』においても、フードロスの発生や多様なごみの排出等の環境負荷に対する課題意識が長年ありました。

そのような中、『UCC Smile Festa』では、2022年より東名阪の3会場で「サステナブルイベント」の実現を目指す施策を開始し、廃棄物量とリサイクル量を数値化したうえで、環境報告書として公開いたしました。

その実績データを元に、**今年は廃棄物量を昨年より10%削減等の目標を掲げ、環境負荷低減への取り組みを更に強化いたしました。**

### ▼実施会場



# 1. 展示会造作について

## 目標達成

「造作関連」排出量 2022年 53.54 t → 2023年 11.14 t (前年比△79.19%)

### 展示会造作について



**目標** 装飾関連の木くず 2022年 実施時の排出量 50.93tから 10%削減の45.84tへ



再利用可能な部材の利用を促進し、一部の造作で環境負荷が少なく、リサイクルできる素材を取り入れています。

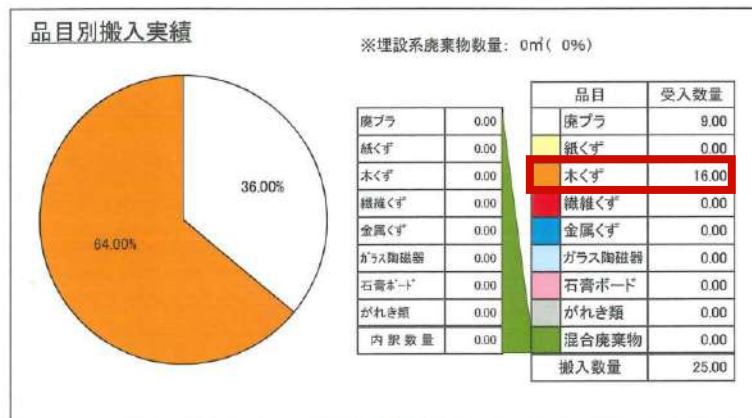
イベントの装飾物は全体の87% (前年比12%UP)をリユース部材で構成し、排出される廃棄物は熱源として利用するなど、適切な処理を行います。



2022年実施時には、サーマルリサイクルに回る素材が多かったため(木材など)、今年度はマテリアルリサイクル(ケミカルリサイクル)が可能な素材を積極的に選定しております。

### ▼発生した装飾関連の廃棄物の見える化

計画	リサイクル率 100%以上	実績	リサイクル率 100.00%
マテリアルリサイクル	36.00%	サーマルリカバリー	64.00%
エミッション	0.00%		



前年のサーマル比率 91.68%から、64.00%に。

木材廃棄物を  
バイオマス発電へ  
(熱回収)

総発電量  
5,746kwh (9.6世帯分※1※2/月)  
(2022年実績33,253kwh)

CO2削減相当量 (スギの木)

190本相当 ※3※4

※1) 契約アンペア数「30A」の1kwhの単価にて算出  
 ※2) 一般家庭1か月あたり消費量「300kwh」にて算出  
 ※3) スギの木(樹齢80年)が1年間に吸収する二酸化炭素量=14kg-CO2  
 ※4) 東京電力エナジーパートナーのCO2排出係数「0.000462t-CO2/kwh」

イベント前の造作設計段階から、木工造作削減の取り組みを強化。

装飾物のうち、9割ほど※5 リユース部材を活用した結果、木くずの削減目標を大きく達成しました。

木くずを 8.80t (前年比△82.72%) まで削減できたことで、マテリアルリサイクル率が36%まで向上しました。

※5) 立米 (m<sup>3</sup>) 換算

マテリアルリサイクルとは：廃棄物等を原材料として再利用すること。例えば、アルミ缶を溶かしてアルミ缶その他のアルミ製品を製造することなどが再生利用に当たる。  
 サーマルリカバリー（熱回収）とは：廃棄物から熱エネルギーを回収すること。ごみ発電をはじめ、施設内の暖房・給湯、温水プール、地域暖房等に利用されている。

※詳細はP15参照

## 2. 展示照明／配布物の削減

### 展示照明について



コーナーでは消費電力が少なく、寿命も長いLED照明を積極的に取り入れています。

### ■LED照明の全面導入



### 配布印刷物について



案内チラシ等はコーナー内でQRコードを掲示し、デジタル化を推進することで紙の削減に取り組めます。



### ■案内チラシのデジタル化促進により、紙の使用量の削減



昨年から（出展メーカーブース含む）会場内の電気を全面的にLED照明に切り替え、消費電力量を削減。主催コーナーでは、案内チラシを電子化し、紙の使用量を大幅に削減しました。出展メーカーにも積極的に案内チラシの電子化を推進するなどの取り組みも実施しました。



# 3. 食品ロス削減について

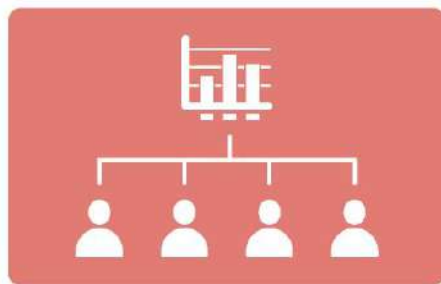
## 目標達成

「食品廃棄物」排出量 2022年 2.57 t → 2023年 2.22 t (前年比△13.80%)

### 食品ロス削減について



**目標** 食品廃棄物 2022年実施時の排出量 2.57tから10%削減の2.31tへ



#### <準備段階>

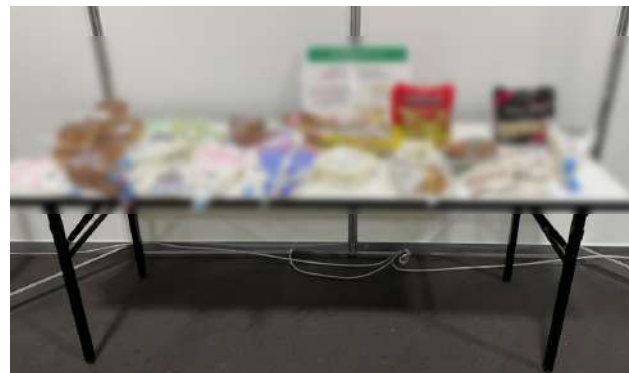
- ・ 時間帯別に来場されるお客さま数を把握し、関係者、出展メーカーに情報を共有することで、試飲試食の作りすぎを予防します。

#### <開催中の取り組み>

- ・ 社員の商品勉強会を兼ねた試飲試食の促進
- ・ 出展メーカー同士で余った食材を共有できる場所の設置



- 時間帯別の来場人数の共有による試食量の適正化
- 余った食材を関係者で共有できるスペースを新設



- 終了間際のUCCグループ社員・出展者の試飲試食の促進

**食品廃棄物の総量 2.22t (前年比 △13.80%)** (※札幌会場除く 3会場実績)

※内、抽出後のコーヒー粉は0.28t (内、39kgはアップサイクルに回しています)  
※大阪会場分 (530kg) は食品リサイクル (炭化) を実施

2022年の食品廃棄物量の実績をもとに、出展メーカーとの連携を強め、継続的な削減に取り組みました。  
新たな取り組みとして、開催後に余った食材を関係者（出展メーカー・UCCグループ社員）でシェアをできる持ち帰り推奨スペースを新設し、食品ロスの削減につなげました。

## 4. プラスチックの削減

目標達成

「プラスチック」排出量 2022年 1.10 t → 2023年 0.76 t (前年比△31.01%)

### 脱プラスチックについて



**目標** ファンウェイプラスチック 2022年実施時の排出量 1.1tから 10%削減 0.99tへ



ドリンクは可能な限り  
紙カップで提供します。  
使用するプラカップについても  
環境配慮型の容器を  
活用します。

試食用のトレイ・フォーク・  
スプーン等については、試食する  
食品との相性を確認したうえで、  
可能な限り紙製・木製のものに  
切り替えをします。



■試食用のカップ、フォーク、スプーン等は、試食する食品との相性を確認のうえ、可能な限り紙製・木製のものを利用



**プラスチック排出量 0.76t (前年比 △31.01%)**

(※札幌会場除く 3会場実績)

※内、64.4kgはマテリアルとしてリサイクル (名古屋会場)

**主催コーナーの試飲試食資材をすべて紙製・木製のものに差し替え。  
出展メーカーへも事前説明会にて協力を呼びかけることで削減につなげました。  
一方で、地域によってきれいなプラスチックの基準が昨年より厳しくなったことで、  
リサイクルに回るプラスチックの割合が減少したことが来期の課題です。**

# 5. 廃棄物処理について

目標達成

「会場で排出される廃棄物量」 2022年 8.06 t → 2023年 5.84 t (前年比△27.58%)

## 廃棄物処理について



**目標** 会場で排出される廃棄物量 2022年実施時の排出量 8.06tから10%削減の7.25tへ



発生する廃棄物に関しては  
排出量そのものの削減と  
リサイクル率の向上に着目し、  
適切な分別の徹底に  
取り組みます。

最終的な廃棄物量と  
リサイクル率をレポートにまとめ、  
継続的な排出量削減・資源循環に  
取り組みます。

1. 廃棄物処理実績データ（2023年分）	
項目	数値
発生量（t）	8.06
回収量（t）	5.84
リサイクル率（%）	72.58
削減量（t）	2.22

- リサイクル率向上のため、適切なおみの分別の徹底に取り組む。
- 出展メーカーと方針を説明会にて事前共有、ごみ袋に各社名入りのシールを貼付することを2023年から開始。



## 会場で排出される廃棄物量の総量 5.84t

**（前年比 △27.58%）**（※札幌会場除く 3会場実績）

※内、紙カップ5kgはアップサイクルに回しています。



来場者用ごみ箱

前年に引き続き、ごみの回収を9種類に分別し、それぞれの排出量を計測。  
新たな取り組みとして、ごみ収集所でUCCコーヒープロフェッショナルの事務局メンバーによる出展メーカーのごみ分別チェックを実施し、分別意識の向上につなげました。  
来場者用のごみ箱も、一目で分別しやすいデザインにアップデートしました。

# 5. 廃棄物処理について

## ■廃棄物処理実績データ（名古屋/大阪/東京 会場 合計）

分類	種別	2023 排出量	構成比	2022 排出量	増減率 (前年比)	最終処理方法	備考
総合計（1+2）		16.98t	—	61.61t	-72.44%		
会場で排出された廃棄物合計（1）		5.84t	100.0%	8.06t	-27.58%		
一般廃棄物	燃やすごみ	1.68t	28.84%	3.18t	-46.99%	焼却・埋め立て	
	A) 食品廃棄物 + B) 抽出後のコーヒー粉 合計	2.22t	—	2.57t	-13.80%	会場によって異なる	※P17参照
	A) 食品廃棄物	1.94t	33.20%	—	—	会場によって異なる	※P17参照
	B) 抽出後のコーヒー粉	0.28t	4.73%	—	—	会場によって異なる	※P17参照
	汚れたプラスチック	0.67t	11.39%	0.61t	8.63%	焼却・埋め立て	※昨年より基準が厳しくなったことで、汚れたプラスチックに回る割合が増加。
産業廃棄物	きれいなプラスチック	0.09t	1.62%	0.49t	-80.62%	会場によって異なる	※P17参照
	ビン	0.03t	0.47%	0.02t	16.17%	マテリアルリサイクル	
	缶	0.03t	0.44%	0.03t	-15.17%	マテリアルリサイクル	
	ペットボトル	0.05t	0.89%	0.05t	8.49%	マテリアルリサイクル	
	ダンボール	1.05t	17.91%	1.06t	-0.92%	マテリアルリサイクル	
	廃油	0.03t	0.51%	0.06t	-48.26%	マテリアルリサイクル	
造作関連の廃棄物合計（2）		11.14t	100.0%	53.54t	-79.19%	※立米実績から、重量換算に変換しているため、P3の表の数値と異なります。	
産業廃棄物	紙くず	0.00t	0.00%	0.06t	-100.00%	マテリアルリサイクル	
	木くず	8.80t	78.99%	50.93t	-82.72%	サーマルリカバリー	※排出実績 16.0m <sup>3</sup> /環境省発行データをもとにして重量換算
	金属くず	0.00t	0.00%	0.45t	-100.00%	マテリアルリサイクル	
	がれき類	0.00t	0.00%	0.10t	-100.00%	マテリアルリサイクル	
	混合廃棄物	2.34t	21.01%	2.00t	16.88%	マテリアルリサイクル	※排出実績 9.0m <sup>3</sup> /環境省発行データをもとにして重量換算



# 6. CO2排出量の測定

## CO2排出量の測定について

会場使用電力、  
主催者・装飾関連の運搬トラックによる

**CO2排出量**  
合計 26.98t-CO<sub>2</sub>  
(※2022年 測定データ)

CO<sub>2</sub>排出 相当量(スギの木)

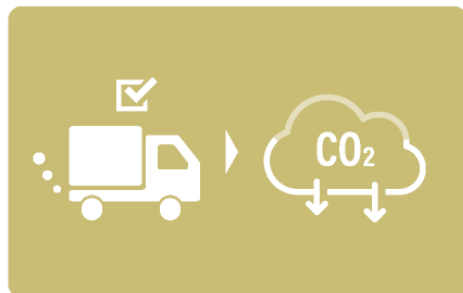


**1,927本 相当** ※

※スギの木(樹齢80年)が1年間に吸収する二酸化炭素=14kg-CO<sub>2</sub>

### <CO<sub>2</sub>排出量の測定>

- ・会場使用電力による排出量
- ・主催者分のトラックの排出量  
(資材や商品、装飾物の運搬)
- ・主催者事務局関係者の移動、  
宿泊による排出量



上記を算定、記録することで、  
次回開催以降の削減への取り組みに活用します。

分類	会場	2023 排出量 (t-CO <sub>2</sub> )	2022 排出量 (t-CO <sub>2</sub> )	増減率 (前年比)	備考 <small>※1) CO<sub>2</sub>排出係数</small>
会場の 電力利用	名古屋	2.89	2.86	1.05%	0.000449 kg-CO <sub>2</sub> /kWh ※1
	大阪	2.42	3.07	△21.02%	0.000575 kg-CO <sub>2</sub> /kWh ※1
	東京	0.82	1.07	△22.85%	0.000457 kg-CO <sub>2</sub> /kWh ※1
	<b>合計</b>	<b>6.13</b>	<b>6.99</b>	<b>△12.28%</b>	※東京会場は3日間から2日間に短縮。
運搬 トラック	名古屋	7.14	8.49	△15.91%	算定には「 <a href="#">トラック運送事業者用CO2排出量簡易算定ツール(STEP2)</a> 」を採用(2022は改良トンキロ法を採用) ※算定方法はP19参照
	大阪	8.46	9.58	△11.76%	
	東京	1.81	1.92	△ 5.65%	
	<b>合計</b>	<b>17.40</b>	<b>19.99</b>	<b>△12.94%</b>	
関係者の 移動・宿泊	名古屋	5.08	—	—	※主催者企画関係者の移動・宿泊による排出量を2023より算定 ※移動はオフィス⇄会場間として算定 ※算定方法はP20参照
	大阪	5.66	—	—	
	東京	0.36	—	—	
	<b>合計</b>	<b>11.10</b>	—	—	

**CO2排出量 合計 34.63 t-CO<sub>2</sub>** **=** **CO2排出 相当量 (スギの木) 2,474本 相当** ※2

※2) スギの木(樹齢80年)が1年間に吸収する二酸化炭素量=14kg-CO<sub>2</sub>

**CO2排出量の実績をもとに、運搬効率の向上など、継続的な削減に取り組んでまいります。**

※電力使用量は、全会場削減ができたものの、排出係数の増加により、一部排出量が増加しています。

# 7. サステナブル提案ブース

## 「UCC's Sustainability」エリア



UCCが進むべき方向性と目標である「フレームワーク」と、栽培から1杯のコーヒーに至るまで一貫したUCCグループ独自の「サステナビリティ活動の取り組み」を過程に沿ってご紹介します。



サステナビリティ商品のご提案や  
アレンジメニューも試飲いただけます。



栽培から1杯のコーヒーに至るまで一貫した  
独自の「サステナビリティ活動」の取り組み紹介と商品のご提案を実施しました。



## 8. 出展メーカーとの共創

### 出展メーカーとの共創



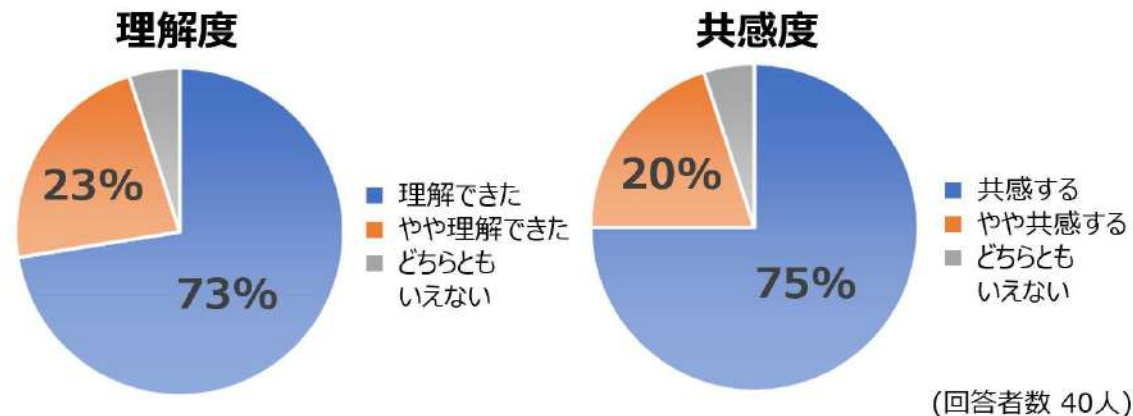
出展メーカーからサステナビリティの取り組みに対する協力を得るため、事前に出展メーカー説明会を実施し、方針や目標を共有。

余った食材を共有ができる『もったいないコーナー』を設置し、可能な限り食品ロスを減らす施策を実施。



資源循環型イベントの実現に対して、協力的な出展メーカーを表彰し、更なる機運醸成を図ります。

### ▼『出展メーカー サステナブル説明会アンケート』



**出展メーカー向けに『サステナビリティ取り組みに対する説明会』を実施し、イベント開催前から取り組みに対しての機運醸成を図りました。**

**また、取り組みに対して積極的にご協力いただいたメーカーの表彰を全会場実施しました（※札幌会場除く）。**

## ■サステナブル表彰されたメーカー一覧

### 【評価項目／基準】

- ① **ごみの分別**：分別がされている/正しいごみ袋を使用している/ブースシールを貼付している
- ② **試食試飲資材**：紙製や木製の資材を使用しプラスチック削減に貢献している
- ③ **展示商品**：サステナブルな商品を展示している/サステナブル商品シールを活用している

### ■名古屋会場

セキシステムサプライ株式会社／三井農林株式会社

森永乳業株式会社／株式会社ニチレイフーズ／昭和産業株式会社／ハウス食品株式会社

### ■大阪会場

カゴメ株式会社／株式会社ニチレイフーズ／味の素冷凍食品株式会社／昭和産業株式会社  
株式会社Mizkan／ハウス食品株式会社／アリスタフードソリューションズジャパン株式会社  
株式会社フォレストパックス

### ■東京会場

ケンコーマヨネーズ株式会社／ハインツ日本株式会社／日東ベスト株式会社／株式会社大冷  
理研ビタミン株式会社

代表的な取り組みの様子





## ■2023年 施策の振り返りと更なる取り組み強化に向けて

### 1、ゼロウェイスト

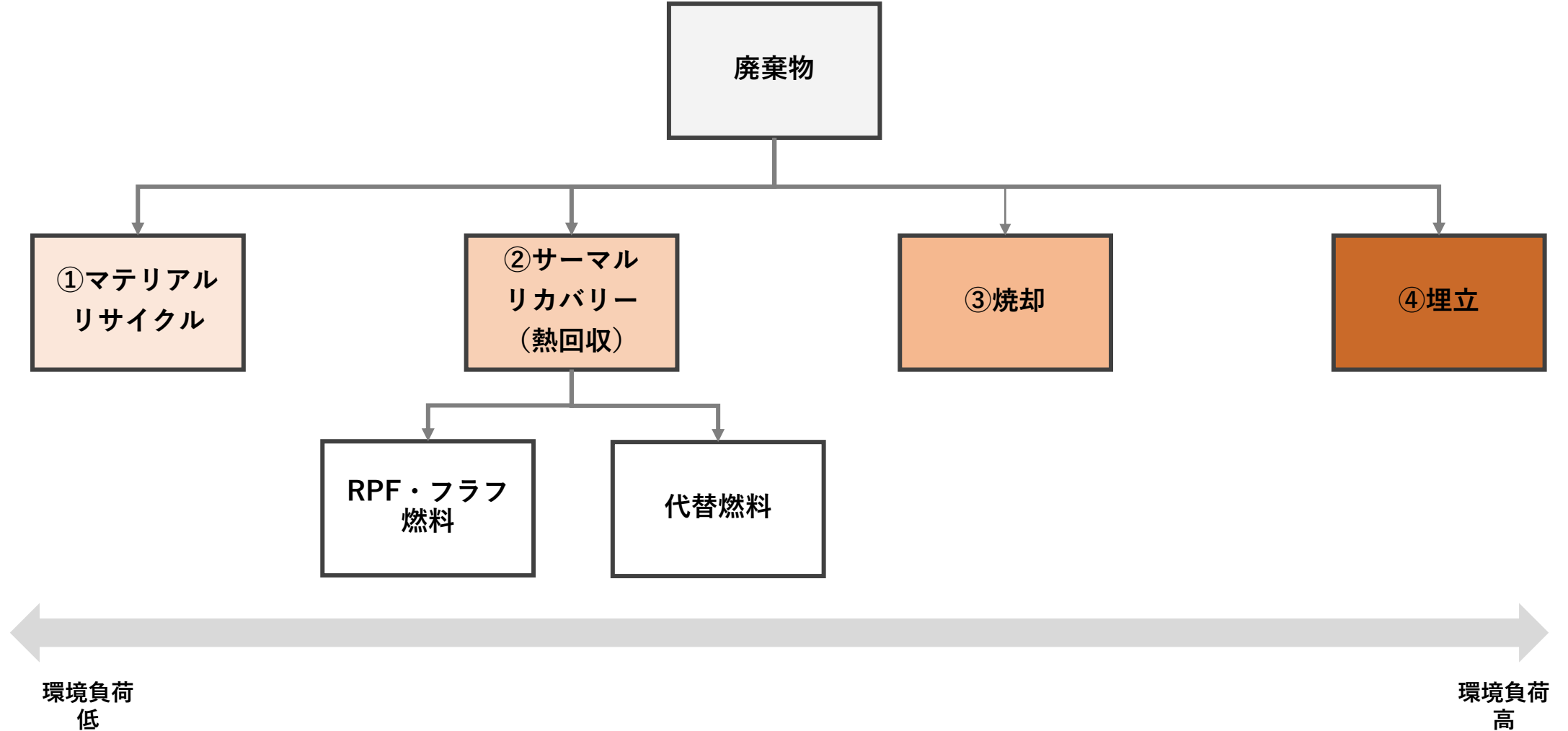
- 出展メーカーを巻き込み、資源循環型イベントの取り組みに対して目標を共有し、積極的に参加してもらうことで、イベント全体の大きな成果へとつなげることができました。
- 来年度についても、環境報告書の共有や出展メーカー説明会で更なる取り組みを推進するなど、出展メーカーとの共創を強化してまいります。
- 造作関連については、設計段階から木材の量の削減を意識し、デザインを想定したことで、大きく排出量を削減することができました。来年度以降も継続してマテリアルリサイクル率の向上を目指します。また、物量が減ったことで、トラック台数の削減にもつながり、CO2排出量の削減にも寄与しました。

### 2、CO2排出量の削減

- トラックの運搬効率の適正化をさらに検証していくとともに、カーボンオフセットについても実施を検討してまいります。

# 参考データ

## (参考) 廃棄物の処理の方法



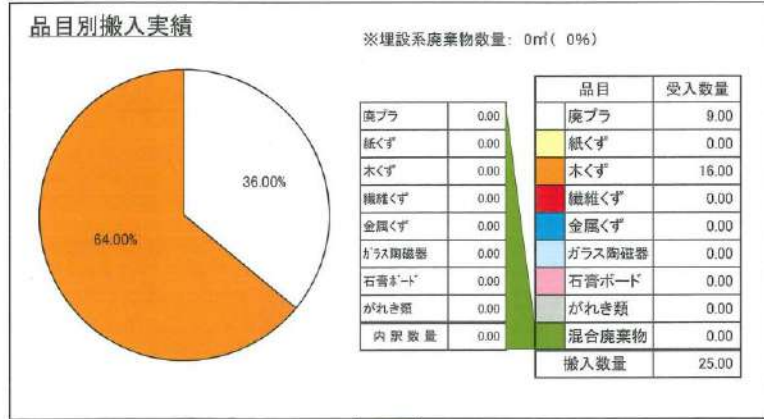
マテリアルリサイクルとは：廃棄物等を原材料として再利用すること。例えば、アルミ缶を溶かしてアルミ缶その他のアルミ製品を製造することなどが再生利用に当たる。  
サーマルリカバリー（熱回収）とは：廃棄物から熱エネルギーを回収すること。ごみ発電をはじめ、施設内の暖房・給湯、温水プール、地域暖房等に利用されている。

# 装飾資材の廃棄物処理実績

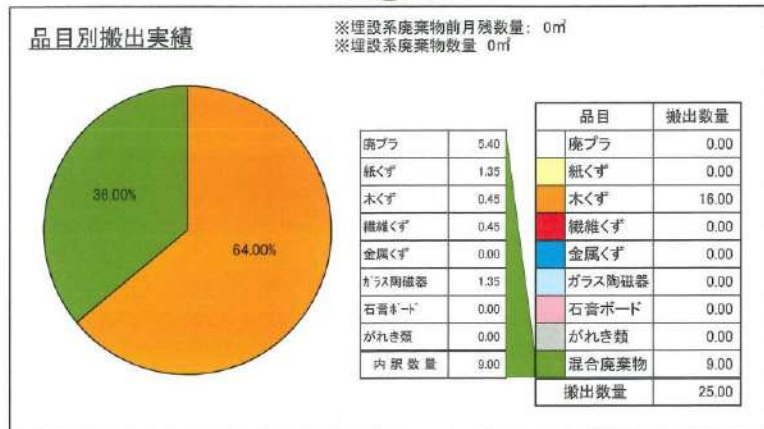
## 株式会社博展 Smile Festa2023 UCC 計画/実績表

計画	リサイクル率 100%以上	実績	リサイクル率 100.00%
----	---------------	----	----------------

マテリアルリサイクル	36.00%	サーマルリカバリー	64.00%	エミッション	0.00%
------------	--------	-----------	--------	--------	-------



選別・圧縮率	0.00 %	選別・圧縮量	0.00 m <sup>3</sup>
--------	--------	--------	---------------------



## 品目別仕様先別搬出実績

東明興業株式会社

大品目	中品目	仕様先	M. T. E (m <sup>3</sup> )			品目別搬出数量 (m <sup>3</sup> )	構成比
			マテリアル	サーマル	エミッション		
廃プラ	0600 再生不可	リファイン					
	0600 再生可能	UBE三菱 北越コーポレーション エコロ 不二様商事 和円商事 和円クリンエフコ トクヤマ ナコード 矢島職業所 西洋環境 埼玉環境				0.00	0.00%
すく紙	0710 再生不可	金子商事				0.00	0.00%
	0700 再生可能	須賀					
木くず	0610 再生不可	新エネ	16.00				
	0610 再生可能 0811 生木、伐根	ハイオクス群馬 三菱トレーディング 北越重機 東京ボード エフバイオス 木材開発 レンゴーパーパー				16.00	64.00%
繊維くず	0910 繊維くず	三島谷興産 大洋土づくり 御築				0.00	0.00%
	1210 再生可能 1220 再生不可	真下商店 リバー 丸二商店				0.00	0.00%
陶ガラス	1310 ガラスくず 1320 陶磁器くず	UBE三菱 埼玉環境 エコロンテア 二光産業処理 太平洋セメント JWガラス 矢島職業所				0.00	0.00%
	1300	ナコード ギプロ 太平洋セメント エコロンテア トクヤマシステム ミダック(遠州)					
石膏ボード	1322 石膏ボード(未使用端材) 1322 石膏ボード(クロス付) 1322 石膏ボード(岩綿吸音板付) 1322 石膏ボード(水濡れ等)	ナコード ギプロ 太平洋セメント エコロンテア トクヤマシステム ミダック(遠州)					
	1322 石膏含有	仙台環境 小名浜吉野				0.00	0.00%
きがれ	1500 がれき類 1500 コンクリートがら 1502 7A711料、コンクリートがら	日本補材 アフロ総合 日本道路 矢島職業所 北関東環境				0.00	0.00%
	1500	北関東環境					
混合廃棄物	2021 新築系廃棄物	北関東環境 大青工業 太平洋セメント リーテム					
	2022 改修・解体系廃棄物	リーテム					
混合廃棄物	3600 複合材	リバー トクヤマ ツネシシカムテクス J&T臨海 オシカス資源 仙台環境 三島谷興産 レックス アクトリー セルクリンセンター ミダック(美名湖) ミダック(遠州) ミダック(奥山の社) 大瀬商店 菅小牧	0.00		0.00	0.00	
	2010 2020 3600					9.00	36.00%
合計			9.00 (36.00%)	16.00 (64.00%)	0.00 (0.00%)	25.00	100.00%



# ■廃棄物処理実績データ（会場別詳細）

会場	分類	種別	2023 排出量	構成比	2022 排出量	増減率 (前年比)	最終処理方法	備考
名古屋会場	合計		1826.4kg	100.0%	3155.9kg	-42.13%		
	一般廃棄物	燃やすごみ	585.7kg	32.1%	1495.0kg	-60.82%	焼却・埋め立て	
		A) 食品廃棄物 + B) 抽出後のコーヒー粉 合計	663.8kg	—	881.2kg	-24.67%	—	※2022の食品廃棄物は、抽出後のコーヒー粉含む総量を計測。
		A) 食品廃棄物	608.2kg	33.3%	—	—	焼却・埋め立て	
		B) 抽出後のコーヒー粉	55.6kg	3.0%	—	—	焼却・埋め立て	※最終的には、一般廃棄物として燃やすごみと一緒に処理。 会場で博展が計測。
	産業廃棄物	汚れたプラスチック	176.5kg	9.7%	314.0kg	-43.79%	焼却・埋め立て	
		きれいなプラスチック	64.4kg	3.5%	126.4kg	-49.05%	マテリアルリサイクル	※会場で博展が計測。
		ビン	2.3kg	0.1%	3.3kg	-30.30%	マテリアルリサイクル	※会場で博展が計測。
		缶	3.5kg	0.2%	6.1kg	-42.62%	マテリアルリサイクル	※会場で博展が計測。
		ペットボトル	11.8kg	0.6%	12.4kg	-4.84%	マテリアルリサイクル	※会場で博展が計測。
ダンボール		310.0kg	17.0%	300.0kg	3.33%	マテリアルリサイクル		
廃油	8.4kg	0.5%	17.5kg	-52.00%	マテリアルリサイクル	※会場で博展が計測。		
大阪会場	合計		1571.2kg	100.0%	1999.6kg	-21.42%		
	一般廃棄物	燃やすごみ	541.4kg	34.5%	880.0kg	-38.48%	焼却・埋め立て	
		汚れたプラスチック	228.6kg	14.5%	75.4kg	203.30%	焼却・埋め立て	※会場で博展が計測。
	産業廃棄物	A) 食品廃棄物 + B) 抽出後のコーヒー粉 合計	530.0kg	—	600.0kg	-11.67%	—	※2022の食品廃棄物は、抽出後のコーヒー粉含む総量を計測。
		A) 食品廃棄物	395.7kg	25.2%	—	—	リサイクル（炭化）	※最終的には、一般廃棄物として燃やすごみと一緒に処理。 会場で博展が計測。
		B) 抽出後のコーヒー粉	134.3kg	8.5%	—	—	リサイクル（炭化）	
		きれいなプラスチック	0.0kg	0.0%	190.0kg	-100.00%	マテリアルリサイクル	※前回油污汚れにより、ほぼリサイクルに回せなかったため、2023年はプラスチックは全て焼却扱いとなり、0 kgとなっている。
	ビン	10.0kg	0.6%	10.0kg	0.00%	マテリアルリサイクル		
	缶	10.0kg	0.6%	15.0kg	-33.33%	マテリアルリサイクル		
	ペットボトル	16.0kg	1.0%	8.0kg	100.00%	マテリアルリサイクル		
ダンボール	225.0kg	14.3%	200.0kg	12.50%	マテリアルリサイクル			
廃油	10.2kg	0.6%	21.2kg	-51.89%	マテリアルリサイクル			
東京会場	合計		2442.5kg	100.0%	2908.4kg	-16.02%		※2022の3日間開催から2日間開催に短縮。
	一般廃棄物	燃やすごみ	557.3kg	22.8%	802.7kg	-30.57%	焼却・埋め立て	※会場で博展が計測。
		A) 食品廃棄物 + B) 抽出後のコーヒー粉 合計	1021.8kg	—	1089.1kg	-6.18%	—	※2022の食品廃棄物は、抽出後のコーヒー粉含む総量を計測。
		A) 食品廃棄物	935.15kg	38.3%	—	—	焼却・埋め立て	
		B) 抽出後のコーヒー粉	86.6kg	3.5%	—	—	焼却・埋め立て	※最終的には、一般廃棄物として燃やすごみと一緒に処理。 会場で博展が計測。
	産業廃棄物	汚れたプラスチック	259.9kg	10.6%	222.8kg	16.65%	焼却・埋め立て	
		きれいなプラスチック	30.5kg	1.2%	172.9kg	-82.39%	焼却・埋め立て	
		ビン	15.0kg	0.6%	10.2kg	47.06%	マテリアルリサイクル	※会場で博展が計測。
		缶	12.0kg	0.5%	8.9kg	34.27%	マテリアルリサイクル	※会場で博展が計測。
		ペットボトル	24.0kg	1.0%	27.3kg	-12.27%	マテリアルリサイクル	※会場で博展が計測。
ダンボール		511.1kg	20.9%	555.8kg	-8.04%	マテリアルリサイクル	※会場で博展が計測。	
廃油	11.1kg	0.5%	18.7kg	-40.64%	マテリアルリサイクル	※会場で博展が計測。		
札幌会場	合計		1063.3kg	100.0%	—	—		※2023から計測開始のため、2022データはなし。
	一般廃棄物	燃やすごみ	151.65	14.3%	—	—	焼却・埋め立て	※会場でSUCが計測。
		A) 食品廃棄物 + B) 抽出後のコーヒー粉 合計	550.7	—	—	—	—	
		A) 食品廃棄物	531	49.9%	—	—	焼却・埋め立て	※会場でSUCが計測。
		B) 抽出後のコーヒー粉	19.7	1.9%	—	—	焼却・埋め立て	※会場でSUCが計測。
	産業廃棄物	汚れたプラスチック	120.41	11.3%	—	—	焼却・埋め立て	※会場でSUCが計測。
		きれいなプラスチック	11.9	1.1%	—	—	マテリアルリサイクル	※会場でSUCが計測。
		ビン	3.25	0.3%	—	—	マテリアルリサイクル	※会場でSUCが計測。
		缶	3.05	0.3%	—	—	マテリアルリサイクル	※会場でSUCが計測。
		ペットボトル	22.45	2.1%	—	—	マテリアルリサイクル	※会場でSUCが計測。
ダンボール		199.85	18.8%	—	—	マテリアルリサイクル	※会場でSUCが計測。	
廃油	0	0.0%	—	—	マテリアルリサイクル	※会場でSUCが計測。		

## ■CO2排出量の測定（電力量）

	2023	2022	増減率（前年比）
電力利用（A）	6.13 t-CO2	6.99 t-CO2	-12.28%
トラック排出量（B）	17.40 t-CO2	19.99 t-CO2	-12.94%
人の移動・宿泊（C）	11.10 t-CO2	-	-
総合計（A+B+C）	34.63 t-CO2	26.98 t-CO2	
スギの木換算	2,474 本	1,927 本	

※東京会場は3日間から2日間に短縮。

※スギの木（樹齢80年）が1年間に吸収する二酸化炭素量 = 14kg

2023年度	開催期間	電気使用量 (kwh)	排出量 (t-CO2)	昨対比	排出係数 (t-CO2/kWh)	電力会社
ポートメッセなごや （第2展示館）	2023/3/7-8 （2日間）	6,320	2.89	1.05%	0.000449	中部電力ミライズ株式会社
インテックス大阪 （3号館）	2023/3/14-15 （2日間）	4,213	2.42	-21.02%	0.000575	テブコカスタマーサービス株式会社
東京流通センター （第一展示場）	2023/3/28-29 （2日間）	1,800	0.82	-22.85%	0.000457	東京電力エナジーパートナー株式会社
電気による排出量 合計（B）		12,333	6.13	-12.28%		
2022年度	開催期間	電気使用量 (kwh)	排出量 (t-CO2)		排出係数 (t-CO2/kWh)	電力会社
インテックス大阪 （5号館A）	2022/3/15-16 （2日間）	6,924	3.07		0.000460	テブコカスタマーサービス株式会社
ポートメッセなごや （第2展示館）	2022/3/22-23 （2日間）	7,040	2.86		0.000406	中部電力ミライズ株式会社
東京流通センター （第一展示場）	2022/3/29-31 （3日間）	2,407	1.07		0.000443	東京電力エナジーパートナー株式会社
電気による排出量 合計（B）		16,371	6.99			

# CO2排出量の測定（トラック輸送）

## CO2排出量簡易算定ツール（トライアル版）【STEP 2】

	2023	2022	削減率（前年比）
<b>総合計</b>	<b>17.40 t-CO2</b>	<b>19.99 t-CO2</b>	<b>-12.9%</b>
名古屋	7.14 t-CO2	8.49 t-CO2	-15.9%
大阪	8.46 t-CO2	9.58 t-CO2	-11.8%
東京	1.81 t-CO2	1.92 t-CO2	-5.7%

※2022は改良トンキロ法で算出

■車両別の燃費、CO2排出量

No.	担当	会場	会場（往復）	発	着	最大積載量 (kg) a	台数	燃料種別	CO2 排出係数 (kg-CO2/ km) q=b*p	燃料使用量 b	走行キロ (km) c	燃費 o=c/b	CO2排出係数 p <sup>1,2</sup>	1台あたりのCO2 排出係数 (kg-CO2/ km) q=b*p	1台当たり CO2排出量 (kg-CO2/km) r=q/c
例	装飾関連	名古屋	名古屋（往路）	博栄 T-BASE	ボートメッセなごや	10,000	5	軽油	1,290.0	100 ℓ	356	3.6 km/ℓ	2.58 t-CO2/ℓ	258	0.725
1	装飾関連	名古屋	名古屋（往路）	博栄 八潮	ボートメッセなごや	10,000	6	軽油	1,782.0	115 ℓ	356km	3.1 km/ℓ	2.58 t-CO2/ℓ	297	0.834
2	装飾関連	名古屋	名古屋（往路）	博栄 八潮	ボートメッセなごや	4,000	3	軽油	372.0	48 ℓ	356km	7.4 km/ℓ	2.58 t-CO2/ℓ	124	0.348
3	装飾関連	名古屋	名古屋（往路）	電気	ボートメッセなごや	1,000	2	ガソリン	55.6	12 ℓ	119km	9.9 km/ℓ	2.32 t-CO2/ℓ	28	0.234
4	装飾関連	名古屋	名古屋（往路）	厨房機器	ボートメッセなごや	4,000	1	軽油	11.9	5 ℓ	33km	7.2 km/ℓ	2.58 t-CO2/ℓ	12	0.361
5	装飾関連	名古屋	名古屋（往路）	厨房機器	ボートメッセなごや	4,000	1	軽油	131.0	51 ℓ	361km	7.1 km/ℓ	2.58 t-CO2/ℓ	131	0.363
6	装飾関連	名古屋	名古屋（往路）	厨房機器	ボートメッセなごや	2,000	2	軽油	124.8	24 ℓ	162km	6.7 km/ℓ	2.58 t-CO2/ℓ	62	0.385
7	装飾関連	名古屋	名古屋（往路）	厨房機器	ボートメッセなごや	2,000	1	軽油	14.2	6 ℓ	33km	6.0 km/ℓ	2.58 t-CO2/ℓ	14	0.430
8	装飾関連	名古屋	名古屋（往路）	リース備品	ボートメッセなごや	10,000	1	軽油	137.0	53 ℓ	170km	3.2 km/ℓ	2.58 t-CO2/ℓ	137	0.806
9	装飾関連	名古屋	名古屋（往路）	リース備品	ボートメッセなごや	4,000	2	軽油	123.8	24 ℓ	170km	7.1 km/ℓ	2.58 t-CO2/ℓ	62	0.364
10	装飾関連	名古屋	名古屋（往路）	映像機器	ボートメッセなごや	700	1	軽油	90.3	35 ℓ	350km	10.0 km/ℓ	2.58 t-CO2/ℓ	90	0.258
11	装飾関連	名古屋	名古屋（往路）	給排水	ボートメッセなごや	3,000	1	軽油	77.4	30 ℓ	170km	5.7 km/ℓ	2.58 t-CO2/ℓ	77	0.455
12	装飾関連	名古屋	名古屋（復路）	ボートメッセなごや	博栄 八潮	10,000	8	軽油	2,376.0	115 ℓ	356km	3.1 km/ℓ	2.58 t-CO2/ℓ	297	0.834
13	装飾関連	名古屋	名古屋（復路）	ボートメッセなごや	博栄 八潮	4,000	3	軽油	372.0	48 ℓ	356km	7.4 km/ℓ	2.58 t-CO2/ℓ	124	0.348
14	装飾関連	名古屋	名古屋（復路）	ボートメッセなごや	電気	1,000	2	ガソリン	55.6	12 ℓ	119km	9.9 km/ℓ	2.32 t-CO2/ℓ	28	0.234
15	装飾関連	名古屋	名古屋（復路）	ボートメッセなごや	厨房機器	4,000	2	軽油	117.6	23 ℓ	162km	7.1 km/ℓ	2.58 t-CO2/ℓ	59	0.363
16	装飾関連	名古屋	名古屋（復路）	ボートメッセなごや	厨房機器	2,000	1	軽油	61.9	24 ℓ	162km	6.8 km/ℓ	2.58 t-CO2/ℓ	62	0.382
17	装飾関連	名古屋	名古屋（復路）	ボートメッセなごや	厨房機器	2,000	1	軽油	14.2	6 ℓ	33km	6.0 km/ℓ	2.58 t-CO2/ℓ	14	0.430
18	装飾関連	名古屋	名古屋（復路）	ボートメッセなごや	リース備品	10,000	1	軽油	137.0	53 ℓ	170km	3.2 km/ℓ	2.58 t-CO2/ℓ	137	0.806
19	装飾関連	名古屋	名古屋（復路）	ボートメッセなごや	リース備品	4,000	1	軽油	61.9	24 ℓ	170km	7.1 km/ℓ	2.58 t-CO2/ℓ	62	0.364
20	装飾関連	名古屋	名古屋（復路）	ボートメッセなごや	映像機器	700	1	軽油	90.3	35 ℓ	350km	10.0 km/ℓ	2.58 t-CO2/ℓ	90	0.258
21	装飾関連	名古屋	名古屋（復路）	ボートメッセなごや	給排水	3,000	1	軽油	77.4	30 ℓ	170km	5.7 km/ℓ	2.58 t-CO2/ℓ	77	0.455
22	装飾関連	大阪	大阪（往路）	博栄 八潮	インテックス大阪	10,000	8	軽油	3,488.0	169 ℓ	526km	3.1 km/ℓ	2.58 t-CO2/ℓ	436	0.829
23	装飾関連	大阪	大阪（往路）	博栄 八潮	インテックス大阪	4,000	3	軽油	549.0	71 ℓ	526km	7.4 km/ℓ	2.58 t-CO2/ℓ	183	0.348
24	装飾関連	大阪	大阪（往路）	電気	インテックス大阪	1,000	2	ガソリン	27.8	6 ℓ	64km	10.7 km/ℓ	2.32 t-CO2/ℓ	14	0.217
25	装飾関連	大阪	大阪（往路）	厨房機器	インテックス大阪	4,000	1	軽油	8.8	3 ℓ	24km	7.1 km/ℓ	2.58 t-CO2/ℓ	9	0.365
26	装飾関連	大阪	大阪（往路）	厨房機器	インテックス大阪	2,000	3	軽油	27.9	4 ℓ	24km	6.7 km/ℓ	2.58 t-CO2/ℓ	9	0.387
27	装飾関連	大阪	大阪（往路）	リース備品	インテックス大阪	4,000	3	軽油	4.7	1 ℓ	4km	6.7 km/ℓ	2.58 t-CO2/ℓ	2	0.388
28	装飾関連	大阪	大阪（往路）	映像機器	インテックス大阪	700	1	軽油	12.9	5 ℓ	30km	6.0 km/ℓ	2.58 t-CO2/ℓ	13	0.430
29	装飾関連	大阪	大阪（往路）	給排水	インテックス大阪	3,000	1	軽油	5.2	2 ℓ	8km	4.0 km/ℓ	2.58 t-CO2/ℓ	5	0.645
30	装飾関連	大阪	大阪（復路）	インテックス大阪	博栄 八潮	10,000	8	軽油	3,488.0	169 ℓ	526km	3.1 km/ℓ	2.58 t-CO2/ℓ	436	0.829
31	装飾関連	大阪	大阪（復路）	インテックス大阪	博栄 八潮	4,000	3	軽油	549.0	71 ℓ	526km	7.4 km/ℓ	2.58 t-CO2/ℓ	183	0.348
32	装飾関連	大阪	大阪（復路）	インテックス大阪	電気	1,000	2	ガソリン	27.8	6 ℓ	64km	10.7 km/ℓ	2.32 t-CO2/ℓ	14	0.217
33	装飾関連	大阪	大阪（復路）	インテックス大阪	厨房機器	4,000	1	軽油	192.0	74 ℓ	528km	7.1 km/ℓ	2.58 t-CO2/ℓ	192	0.364
34	装飾関連	大阪	大阪（復路）	インテックス大阪	厨房機器	4,000	2	軽油	17.5	3 ℓ	24km	7.1 km/ℓ	2.58 t-CO2/ℓ	9	0.365
35	装飾関連	大阪	大阪（復路）	インテックス大阪	厨房機器	2,000	1	軽油	9.3	4 ℓ	24km	6.7 km/ℓ	2.58 t-CO2/ℓ	9	0.387
36	装飾関連	大阪	大阪（復路）	インテックス大阪	リース備品	4,000	3	軽油	4.7	1 ℓ	4km	6.7 km/ℓ	2.58 t-CO2/ℓ	2	0.388
37	装飾関連	大阪	大阪（復路）	インテックス大阪	映像機器	700	1	軽油	12.9	5 ℓ	30km	6.0 km/ℓ	2.58 t-CO2/ℓ	13	0.430
38	装飾関連	大阪	大阪（復路）	インテックス大阪	給排水	3,000	1	軽油	5.2	2 ℓ	8km	4.0 km/ℓ	2.58 t-CO2/ℓ	5	0.645
39	装飾関連	東京	東京（往路）	博栄 八潮	東京流通センター	10,000	4	軽油	124.0	12 ℓ	37km	3.1 km/ℓ	2.58 t-CO2/ℓ	31	0.838
40	装飾関連	東京	東京（往路）	博栄 八潮	東京流通センター	4,000	9	軽油	116.1	5 ℓ	37km	7.4 km/ℓ	2.58 t-CO2/ℓ	13	0.349
41	装飾関連	東京	東京（往路）	電気	東京流通センター	2,000	1	軽油	7.7	3 ℓ	20km	6.7 km/ℓ	2.58 t-CO2/ℓ	8	0.387
42	装飾関連	東京	東京（往路）	厨房機器	東京流通センター	2,000	4	軽油	62.0	6 ℓ	37km	6.2 km/ℓ	2.58 t-CO2/ℓ	16	0.419
43	装飾関連	東京	東京（往路）	リース備品	東京流通センター	4,000	2	軽油	10.3	2 ℓ	12km	6.0 km/ℓ	2.58 t-CO2/ℓ	5	0.430
44	装飾関連	東京	東京（往路）	リース備品	東京流通センター	2,000	1	軽油	5.2	2 ℓ	12km	6.0 km/ℓ	2.58 t-CO2/ℓ	5	0.430
45	装飾関連	東京	東京（往路）	映像機器	東京流通センター	2,700	2	軽油	51.6	10 ℓ	50km	5.0 km/ℓ	2.58 t-CO2/ℓ	26	0.516
46	装飾関連	東京	東京（往路）	給排水	東京流通センター	3,000	1	軽油	232.0	90 ℓ	520km	5.8 km/ℓ	2.58 t-CO2/ℓ	232	0.446
47	装飾関連	東京	東京（復路）	東京流通センター	博栄 八潮	4,000	17	軽油	219.3	5 ℓ	37km	7.4 km/ℓ	2.58 t-CO2/ℓ	13	0.349
48	装飾関連	東京	東京（復路）	東京流通センター	電気	2,000	1	軽油	7.7	3 ℓ	20km	6.7 km/ℓ	2.58 t-CO2/ℓ	8	0.387
49	装飾関連	東京	東京（復路）	東京流通センター	厨房機器	2,000	4	軽油	62.0	6 ℓ	37km	6.2 km/ℓ	2.58 t-CO2/ℓ	16	0.419
50	装飾関連	東京	東京（復路）	東京流通センター	リース備品	4,000	3	軽油	15.5	2 ℓ	12km	6.0 km/ℓ	2.58 t-CO2/ℓ	5	0.430
51	装飾関連	東京	東京（復路）	東京流通センター	リース備品	2,000	1	軽油	5.2	2 ℓ	12km	6.0 km/ℓ	2.58 t-CO2/ℓ	5	0.430
52	装飾関連	東京	東京（復路）	東京流通センター	映像機器	2,700	2	軽油	51.6	10 ℓ	50km	5.0 km/ℓ	2.58 t-CO2/ℓ	26	0.516
53	装飾関連	東京	東京（復路）	東京流通センター	給排水	3,000	1	軽油	232.0	90 ℓ	520km	5.8 km/ℓ	2.58 t-CO2/ℓ	232	0.446
54	主催者側	名古屋	名古屋（往路）	中部DC	ボートメッセなごや	4,000	1	軽油	15.5	6 ℓ	39km	6.5 km/ℓ	2.58 t-CO2/ℓ	16	0.397
55	主催者側	名古屋	名古屋（復路）	ボートメッセなごや	中部DC	4,000	1	軽油	15.5	6 ℓ	39km	6.5 km/ℓ	2.58 t-CO2/ℓ	16	0.397
56	主催者側	名古屋	名古屋（往路）	ボートメッセなごや	中部DC	2,000	1	軽油	13.4	5 ℓ	39km	7.5 km/ℓ	2.58 t-CO2/ℓ	12	0.344
57	主催者側	名古屋	名古屋（復路）	ボートメッセなごや	中部DC	2,000	1	軽油	13.4	5 ℓ	39km	7.5 km/ℓ	2.58 t-CO2/ℓ	13	0.344
58	主催者側	大阪	大阪（往路）	炭佐野	インテックス大阪	4,000	1	軽油	25.8	10 ℓ	68km	6.8 km/ℓ	2.58 t-CO2/ℓ	26	0.379
59	主催者側	名古屋	名古屋（往路）	南山ビル（ヤマト運輸）	ボートメッセなごや		1	軽油	217.0	84 ℓ	337	4.0 km/ℓ	2.58 t-CO2/ℓ	217	0.644
60	主催者側	東京	東京（往路）	東京流通センター（ヤマト運輸）	南山ビル		1	軽油	10.3	4 ℓ	14	3.5 km/ℓ	2.58 t-CO2/ℓ	10	0.736
61	主催者側	名古屋	名古屋（往路）	おけけ神戸（コビー企業）	ボートメッセなごや	4,000	1	軽油	258.0	100 ℓ	227	2.3 km/ℓ	2.58 t-CO2/ℓ	258	1.137
62	主催者側	東京	東京（復路）	東京流通センター（コビー企業）	おけけ神戸	4,000	1	軽油	258.0	100 ℓ	549	5.5 km/ℓ	2.58 t-CO2/ℓ	258	0.470
63	主催者側	名古屋	名古屋（往路）	神戸 ライトコート深江	ボートメッセなごや	2,200	1	軽油	82.6	32 ℓ	185	5.8 km/ℓ	2.58 t-CO2/ℓ	83	0.446
64	主催者側	名古屋	名古屋（復路）	ボートメッセなごや	神戸 ライトコート深江	2,200	1	軽油	240.0	93 ℓ	185	2.0 km/ℓ	2.58 t-CO2/ℓ	240	1.297
65	主催者側	東京	東京（往路）	神戸 ライトコート深江	東京流通センター	2,200	1	軽油	82.6	32 ℓ	520	16.3 km/ℓ	2.58 t-CO2/ℓ	83	0.159
66	主催者側	東京	東京（復路）	東京流通センター	神戸 ライトコート深江	2,200	1	軽油	240.0	93 ℓ	520	5.6 km/ℓ	2.58 t-CO2/ℓ	240	0.462
67	主催者側	東京	東京（往路）	東京本部（LC）	東京流通センター	400	1	ガソリン	1.9	1 ℓ	16	20.0 km/ℓ	2.32 t-CO2/ℓ	2	0.116
68	主催者側	東京	東京（復路）	東京流通センター	東京本部（LC）	400	1	ガソリン	1.9	1 ℓ	16	20.0 km/ℓ	2.32 t-CO2/ℓ	2	0.116
69	主催者側	東京	東京（往路）	東京流通センター	東京流通センター	2,000	1	軽油							

# CO2排出量の測定（人の移動・宿泊）

## 1. 移動

所属	交通手段	人数	from	to	片道距離 (km)	往復距離 (km)	CO2排出量(kg-CO2)	原単位 (kg-CO2/人・km)
UCP	鉄道	36	東京青山オフィス	名古屋会場	382.9	765.8	771.93	0.028
UCP	自家用車	15	中部営業本部（天白区菅田）	名古屋会場	23.1	46.2	90.78	0.131
UCP	鉄道	1	神戸（中央区港島中町）	名古屋会場	246.6	493.2	13.81	0.028
UCP	鉄道	37	東京青山オフィス	大阪会場	569.4	1,138.8	1,179.80	0.028
UCP	鉄道	14	近畿営業本部（北区野崎町）	大阪会場	12.4	24.8	9.72	0.028
UCP	鉄道	2	神戸（中央区港島中町）	大阪会場	47.9	95.8	5.36	0.028
UCP	鉄道	59	東京青山オフィス	東京会場	13.2	26.4	43.61	0.028
LC	鉄道	10	東京青山オフィス	名古屋会場	382.9	765.8	214.42	0.028
LC	自家用車	4	中部営業本部（天白区菅田）	名古屋会場	23.1	46.2	24.21	0.131
LC	鉄道	10	東京青山オフィス	大阪会場	569.4	1,138.8	318.86	0.028
LC	鉄道	6	近畿営業本部（北区野崎町）	大阪会場	12.4	24.8	4.17	0.028
LC	鉄道	2	神戸（中央区港島中町）	大阪会場	47.9	95.8	5.36	0.028
LC	鉄道	22	東京青山オフィス	東京会場	13.2	26.4	16.26	0.028
LC	自家用車	2	浮島	東京会場	10.0	20.0	5.24	0.131
博展	鉄道	17	築地オフィス	名古屋会場	391.0	782.0	372.23	0.028
博展	鉄道	13	築地オフィス	大阪会場	578.0	1,156.0	420.78	0.028
博展	鉄道	12	築地オフィス	東京会場	12.0	24.0	8.06	0.028
合計							<b>3,504.63</b>	<b>kg-CO2</b>
合計							<b>3.50</b>	<b>t-CO2</b>

## 2. 宿泊

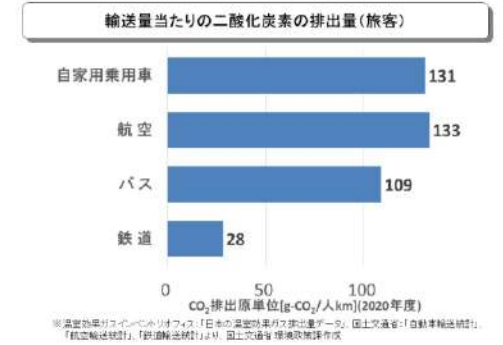
所属	会場	総宿泊数	CO2排出量(kg-CO2)	原単位 (kg-CO2/泊)
博展	名古屋	42.0	1,323.00	31.5
博展	大阪	44.0	1,386.00	31.5
博展	東京	9.0	283.50	31.5
UCP	名古屋	72.0	2,268.00	31.5
UCP	大阪	74.0	2,331.00	31.5
UCP	東京	0.0	0.00	31.5
合計			<b>7,591.50</b>	<b>kg-CO2</b>
合計			<b>7.59</b>	<b>t-CO2</b>

※宿泊の原単位：サプライチェーンを通じた組織の温室効果ガス排出等の算定のための排出原単位データベース（Ver.2.5）を適用

## 1. 移動（会場別合計）

	CO2排出量(t-CO2)	CO2排出量(t-CO2)
名古屋会場	<b>1,487.38</b>	<b>1.49</b>
大阪会場	<b>1,944.06</b>	<b>1.94</b>
東京会場	<b>73.18</b>	<b>0.07</b>
合計	<b>3,504.63</b>	<b>3.50</b>

※移動の原単位は以下を適用



## 2. 宿泊（会場別合計）

	CO2排出量(t-CO2)	CO2排出量(t-CO2)
名古屋	<b>3,591.00</b>	<b>3.59</b>
大阪	<b>3,717.00</b>	<b>3.72</b>
東京	<b>283.50</b>	<b>0.28</b>
合計	<b>7,591.50</b>	<b>7.59</b>

## 3. 合計（1+2）

	CO2排出量(t-CO2)
名古屋	<b>5.08</b>
大阪	<b>5.66</b>
東京	<b>0.36</b>
合計	<b>11.10</b>